

林業安全コラム

健康な心と体で安全作業
目指すは笑顔の無災害
(平成30年 年間標語)

○ 引き続き熱中症に警戒を！

熱中症は、高温多湿な環境で長く作業するなどにより、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能が働かなくなることで発症する様々な症状を指します。熱中症にかかると、めまい、立ちくらみ、筋肉痛、筋肉のこむら返り、大量の発汗、頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感などの症状が現れ、重症になると、呼びかけなどへの反応がおかしい、意識障害、けいれん、体に触ると熱いなどの症状が現れますので注意が必要です。熱中症が疑われる場合には、風通しの良い日陰など涼しい場所で休息を取る、衣服を緩め、首回り、脇の下、足の付け根などを冷やす、水分・塩分、経口補水液（食塩とブドウ糖を溶かしたもの）などを補給する、また、自力で水が飲めない、意識がない場合には、すぐに救急車を呼ぶなどの対応をお願いします。

本年は全国的に記録的な暑さとなっており、8月も猛暑が警戒されますので、引き続き、熱中症対策の一層の取組をお願いします。

○ 平成30年の労働災害発生状況

平成30年における労働災害発生状況(速報)によると、平成30年1月～6月の林業の死傷災害は612件で、前年同期比で38件(6.6%)増加しています。

平成30年における死傷災害発生状況（死亡災害及び休業4日以上死傷災害）（速報）

（平成30年7月9日現在）

業種	平成30年(1月～6月)		平成29年(1月～6月)		対29年比較	
	死傷者数(人)	構成比(%)	死傷者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	49,741	100.0	46,872	100.0	2,869	6.1
建設業	5,942	11.9	5,982	12.8	-40	-0.7
林業	612	1.2	574	1.2	38	6.6

資料：厚生労働省「平成30年における労働災害発生状況（速報）」

一方、平成30年1月～6月の林業の死亡災害は14件で、前年同期比で6件(30.0%)減少、前々年同期比で2件(12.5%)減少していますが、例年同様、伐木関連作業における災害、60代以上の高齢者の死亡災害が多発していますので、「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」等に基づき、適切な伐木等の作業方法や防護衣等の着用の周知徹底等の指導を、また、高齢の現場作業者がいらっしゃる事業体におかれては特段の配慮をお願いします。

平成30年における死亡災害発生状況（速報）

（平成30年7月9日現在）

業種	平成30年(1月～6月)		平成29年(1月～6月)		平成28年(1月～6月)		対29年比較		対28年比較	
	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	321	100.0	377	100.0	382	100.0	-56	-14.9%	-61	-16.0%
建設業	115	35.8	120	31.8	116	30.4	-5	-4.2%	-1	-0.9%
林業	14	4.4	20	5.3	16	4.2	-6	-30.0%	-2	-12.5%

資料：厚生労働省「平成30年における労働災害発生状況（速報）」

- 一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.htm>

- 林業退職金共済制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。
- 労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局

TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-sosei.org

林野庁
林業労働対策室
労働安全衛生班
TEL:03-3502-1629